

事業実績書

事業名		道路空間の再編によるシンナカ彩生プロジェクト
場所		沼津新仲見世商店街（沼津市大手町4丁目）
期間		令和2年 4月 1日 ～ 令和3年 3月 31日
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など）
	4～12月	●関係者ミーティング 商店街コアメンバーと市役所関係者、アドバイザー（一級建築士）との打ち合わせ。必要に応じて解体業者、東京電力やCATVなどの関連業者を交えてアーケード撤去・街路灯整備に向けた交渉・協議を行った。また、道路空間の活用方法についての検討や、庇やファサードの整備について市役所関係者、アドバイザー、業者を交えて検討を行った。（4/2、4/20、4/30、5/11、5/18、6/1、6/8、6/15、7/2、7/20、7/30、8/24、9/3、9/15、10/5、10/13、10/27、11/12、11/26、12/10）
	5/23	●道路空間活用 ・オープンエアナイト…同実行委員会主催、飲食店のテーブルやイスを設置して路上での飲食をする社会実験。
	7/29～	・テーブル・イス・パラソルの設置…昨年度から引き続き実施。コロナ対策としての有効性も検証。
	8/22	・スキマシネマ…路上での映画上映会。
	4/7	●商店街総会 ・商店街定時総会…撤去工事と道路空間再編についての説明を行なった。また、アーケード撤去に関する特別会計、金融機関からの借入について承認を得た。
	10/27	・商店街臨時総会…借入条件について承認を得た。
	4～3月	●補助金関連 ・静岡県魅力ある買い物環境づくり支援事業補助金の申請 県地域産業課のヒアリング(4/27)、沼津市による完成検査(2/19)、静岡県による完成検査(3/15)
	10/30	●資金調達 ・借入れ…沼津信用金庫融資実行
	12～3月	・クラウドファンディング…専門家の指導を受け(12/2、12/23、2/10)、運用開始に向け準備中
	6～3月	・募金…各店舗店頭、HPにて募集した
	5～6月	●周辺説明 ・周辺自治会長への説明(5/20)・近隣説明会(6/11)・訪問による説明(6/12～21)
	6～3月	●工事関連 ・解体業者・架線事業者との現場確認(6/17)・解体(6/22～7/16、9/23～10/19)・電気工事(8/17～9/18、11/24～12/4、1/11～19、2/3～5)・ガス工事(10/22～11/2)、街路灯設置工事(12/8～19)・水道工事(2/22～)

事業内容	5月	●解体業者の選定（入札） 指名通知(5/14)、入札執行(5/22)、契約(5/27)
	6～3月	●プロジェクトの周知・PR ・マスコミ・・・静岡新聞(6/24、2/3、2/10)・沼津朝日(6/20、10/24、2/7)・朝日新聞(12/16、1/29、2/11)・コーストFM(12/15)・沼津経済新聞（ネットニュース 6/26、10/18、2/1） 着工時、鉄骨解体完了時、点灯式の3回取材依頼をした。 ・視察や会議での説明・・・マチミチ study(11/6)、まちなかデザイン会議(1/12) ・町内会回覧(6/1) ・第一地区社協だより(9/15) ・まちづくりファンド事業報告（11/15） ・HP（目指すべき姿やこれまでの経緯、歴史を公開、寄付のお願い） ・Facebook、twitter（#100 日後位に無くなるアーケード屋根として工事の状況や商店街の話題、今後の予定など毎日更新。3/25 現在 309 回投稿） ・Youtube シンナカチャンネル（イベントに代わる PR ツールとして配信 取材・制作会議：1/7、1/26、2/14、2/28 配信：3/1、3/14、3/28） ・イルミネーション(12/10～1/31)街路灯のない期間に沼津青年会議所の協力を得て設置 ・街路灯点灯式(1/26)

事業効果	※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。 南交差点歩行者量（沼津市による歩行者通行量調査：毎年7月第2日曜に実施） (H28) 2,373 (H29) 2,207 (H30) 2,921 (R1) 4,150 (R2) 2,279 歩行者通行量の増加を成果指標として設定したが、工事が大幅に延び、路面の整備も終わっていない状態のため成果としては表れなかった。ただし、H30、R1はイベント（街頭紙芝居大会）開催日であったため、それ以外の年と比較すると横ばいといえる。 コロナ禍でイベントができない中、マスコミへの情報発信やネットでのプロジェクトのPRに務めた結果、多くの支援者を得、各店設置の募金箱のほか、ネット上からも募金（合計約15万円）をいただいた。 PRのため商店街内にYoutubeチャンネル制作チームが発足した。
自己評価	※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。 老朽化したアーケードを撤去し、安全な環境を提供することができた。LED街路灯を採用したことで電気使用量の大幅な削減と、夜間の安全性向上につながった。工事にあたっては、関係先が多岐にわたることが判明したため、専門家（一級建築士）に解体のアドバイスだけでなく、各業者との連絡調整・交渉を委任し、工事を遂行することができた。 道路空間の活用については、市との連携をさらに深め、道路占用、道路使用について柔軟な対応ができるよう調整を行った。 工事の遅れにより路面整備までが完成せず、計画を変更。街路灯支柱のセルフリノベーションとオープニングイベントを取りやめた。代わりとして、今後につながるPRに重きを置き積極的に情報発信を行った結果、多くのメディアに取り上げられた。プロジェクトの周知につながり、多くの市民の関心と呼び、また視察や他県からの問い合わせも増加した。 稼ぐ仕組みとして、コロナ禍でイベント等ができないためクラウドファンディングを行うこととし、来季早々実施するために準備をしている。 景観については、電線の路上横断をなくし、極力すっきりした配線をするよう東京電力に協力を依頼した。店舗ファサードについては、専門の業者に依頼してオーニング等

	の検討をしたが、各店の負担が大きく具体的な計画を立てられなかった。
今後の活動予定	※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。 クラウドファンディングを活用してテーブルやベンチ等の備品の購入、wifi 整備を行い、人が自然と集まる空間を目指して環境を整えていく。クラウドファンディングは単なる資金調達としてだけでなく、情報発信とともに商店街のファンづくりの一環としてとらえ、複数回継続して実施していく。 アフターコロナを見据え、路上を利用したイベントを外部団体でも行いやすいように設備と受け入れ体制を整備する。 路面の工事が完成次第オープニングイベントは行いたい、コロナ対策として大規模な集客イベントではなく、配信も活用していく。 今回のアーケード撤去のノウハウを活かし、老朽化したアーケードに悩む全国の商店街に対するコンサルティング事業も行いたい。

●関係者ミーティング



(2020.4.30)



(2020.9.3)

●道路空間活用



オープンエアナイト (2020.5.23)



スキマシネマ (2020.8.22)



テーブル・イス・パラソルの設置



●資金調達



クラウドファンディング検討 (2020.12～)



募金箱・ポスター (2020.7～)

●周辺説明



近隣説明会 (2020.6.11)

●関連業者での着工前現場確認



(2020.6.17)

●業者の選定 (入札)



入札執行 (2020.5.22)



●プロジェクトの周知・P R
・静岡新聞

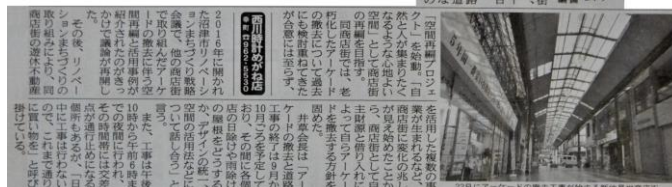


(2020.6.24)



(2020.2.3)

・沼津朝日新聞



(2020.6.20)



(2020.10.24)



(2021.2.10)



(2021.2.7)

・朝日新聞

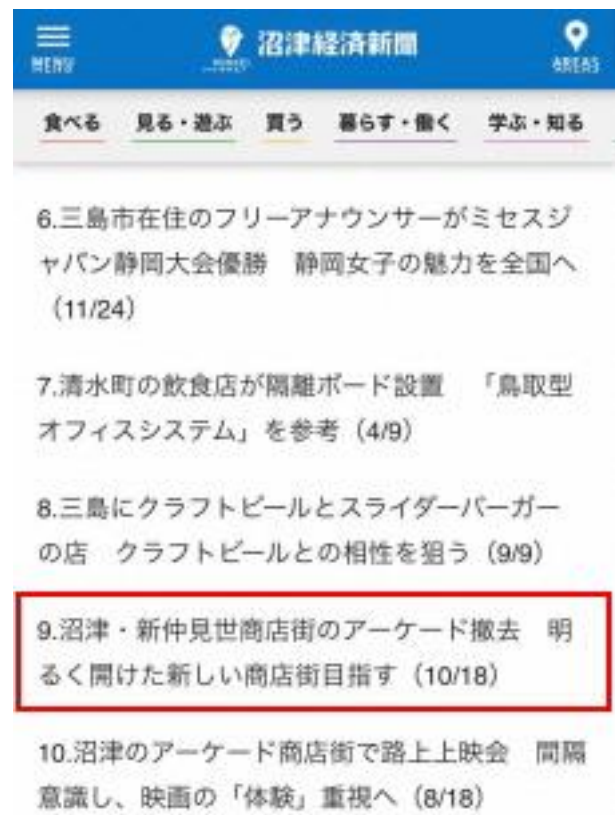
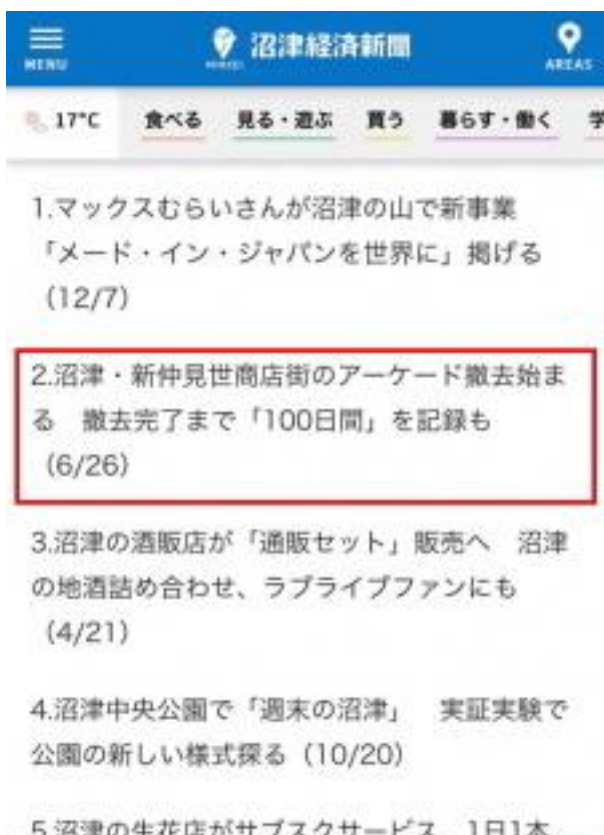


(2021.1.29)



(2021.2.11)

・沼津経済新聞



沼津経済新聞 2020 年間ランキング 2位と9位にランクイン (10位はスキマシネマ)



(2021.2.1)

・HP (nextSHINNAKA)



・youtube シンナカチャンネル



・マチミチ study



(2020.11.6)

・他自治体からの視察で説明



・イルミネーション



(2020.12.10～2021.1.31)

・点灯式



(2021.1.26)

・LED 照明（従来の柱を活かして設置）



・新街路灯点灯の様子

